

平成 2 6 年度 第 1 回拡大幹事会議事録

JCI 四国支部

- 1 . 日 時 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分
- 2 . 場 所 ホテル パールガーデン「琴平の間」(高松市福岡町 2-2-1)
- 3 . 出席者 島弘 , 氏家勲 , 橋本親典 , 甲斐芳郎 , 松島学 , 横井克則 , 水越睦視 , 谷脇準蔵 , 紙田直充 , 古田満広
(オブザーバー) 塚越雅幸 , 新居宏美

4 . 配付資料

- 資料 1 - 0 平成 26 年度第 1 回拡大幹事会議事次第
- 資料 1 - 1 平成 25 年度第 2 回拡大幹事会議事録(案)
- 資料 1 - 2 平成 26 年度活動状況および今後の予定
- 資料 1 - 3 代議員選挙について
- 資料 1 - 4 役員の一部交替のお願い , JCI 四国支部規程
- 資料 1 - 5 本部理事会概要 (平成 26 年 7 月 , 8 月)

5 . 審議事項

島支部長より拡大幹事会開催に当たり挨拶があり , その後 , 各議題について審議が行われた。審議結果は , 以下のとおり。

(1) 平成 2 5 年度第 2 回拡大幹事会議事録の確認 (資料 1 - 1)

平成 25 年度教育助成対象の高校名「阿南工業」を「阿南工業高校」と訂正し , 平成 25 年度第 2 回拡大幹事会議事録(案)が承認された。また , 本部関連委員および平成 27 年度診断士講習会日程について質問があり , 島支部長より説明がなされた。

(2) 平成 2 6 年度活動状況および今後の予定について (資料 1 - 2)

研究委員会活動

- ・ 塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会
委員会を 2 回開催したこと , 梁試験体の載荷実験を実施したことが報告書により確認された。また , 島支部長より本委員会は 2 年目であるので今年度末で活動を終えること , その後速やかに報告書を作成し講習会を開催することが必須である旨の発言があり , 松島委員長に周知することが確認された。
- ・ 各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会
氏家本部理事より , 委員数は 19 名であること , 第 1 回委員会を 8 月 11 日に開催したこと , および今後の活動計画について報告があった。
- ・ 四国の生コン技術力活性化委員会【第 2 期】
古田幹事より第 2 期委員会をスタートし , 7 月に第 1 回委員会を開催したこと , 4 県

のグループから生コン工場ならではの研究テーマが提案されていること、11月1日開催の第2回委員会でテーマを最終決定することなどについて報告があった。また、横井常任委員より委員会議事録をHPに掲載することにより研究テーマなど重要な議論内容が公になることに問題はないのだろうかとの意見がだされ、委員会委員長でもある島支部長より明日の第2回委員会で委員に諮り決定する旨の回答があった。さらに、甲斐幹事より議事録にコメントを記述しているが、どのテーマに対するコメントであるか明確にした方がよいのではとのアドバイスがあった。

島支部長より研究委員会活動期間について次のとおり提案があった。各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会は、7月に公募を締め切り8月に活動を開始し、実質活動期間が2年間確保できていない。これは、支部の総会後に公募の会告をだしており、最短でも6月号の掲載になることから7月または8月に公募の締め切りになり、その後に活動をスタートすることになるからである。これまでの委員会でも同様なことがいえ、10月にスタートした事例もある。活動期間は最長2年と制約されることから、もう少し早く活動をスタートできる方策について検討していただきたい。

協議した結果、1月の拡大幹事会で研究委員会設立趣意書を提出し2月の役員会に諮り、その後、速やかに会告により委員を公募し年度替わり早々に活動をスタートするシステムにすることになった。

講演会・講習会など

- ・ 昨日までに実施した総会、講演会・講習会について古田幹事より報告があった。
- ・ 土木学会四国支部主催、JCI四国支部・四国コンクリート技術懇話会共催の「コンクリートの施工性能の照査・検査システム」研究小委員会第2期委員会報告に関する四国地区講習会の開催実施報告と収支決算について橋本幹事より説明がなされた。
- ・ 生コンセミナーin高知の準備状況について、横井常任委員より報告があった。なお、本セミナーへの四国コンクリート技術懇話会からの助成については、適宜判断することになった。
- ・ コンクリート教育助成について、高知県立高知工業高校へ10万円を支出していること、第8回コンクリート甲子園が12月13日に開催されることが確認された。

本部関連行事

コンクリート診断士試験講習会・試験および年次大会の実施報告とコンクリート技士試験の準備状況について古田幹事より説明された。

現場見学会

谷脇常任委員より10月24日に開催した「長安口ダム」現場見学会について報告があった。

ホームページ運営

横井常任委員より今年度は行事が少ないようであり情報発信が少ない。情報があれば

提供していただきたいとの要請があった。

会員増強

島支部長より会員数が微減しており，研究委員会に参加している委員への勧誘など会員増加を図るよう要請があった。

第 2 回拡大幹事会，第 2 回役員会の開催日程の調整

第 2 回拡大幹事会および第 2 回役員会の開催日程等を本部への予算等の報告期限を考慮し，以下のとおりとした。

第 2 回拡大幹事会

- ・ 日時 平成 27 年 1 月 16 日（金）15 時～17 時
- ・ 場所 香川県生コンクリート工業組合

第 2 回役員会

- ・ 日時 平成 27 年 2 月 2 日（月）16 時～18 時
- ・ 場所 サポートホール高松
- ・ 終了後，近隣で懇親会開催

（ 3 ）代議員の支部推薦候補者の選定について（資料 1 - 3 ）

古田幹事より 2 年に 1 回の本部代議員選挙および支部推薦候補者の選定について説明があり，協議した結果，平成 26 年度第 1 回役員会で選定した 7 名を一部変更し，候補者として以下のとおり推薦することになった。

- ・ 推薦候補者（あいうえお順）

紙田直充（西日本高速道路四国支社），林和彦（香川高専），藤井禎（清水建設），古田満広（香川県生コンクリート工業組合），松田耕作（四国総合研究所），吉田宗司（鹿島建設），吉田秀典（香川大学）

- ・ 推薦されることを知らされていない候補者がいるので，拡大幹事会で推薦されたことが明確に分かるように記述したお願い文書をメールで送付する。

（ 4 ）一部役員の交替について（資料 1 - 4 ）

長尾和明常任委員より，転勤により常任委員を変更していただきたい旨のお願いが 7 月 22 日にあったことについて古田幹事より説明があり，取り扱いを以下のとおりとした。

支部規程第 5 条第 5 項「支部長以外の支部役員が欠けたときは，補充者を支部役員会で選任することができる。」を適用し，本年度第 2 回役員会で審議することになった。

（ 5 ）本部理事会の報告（資料 1 - 5 ）

氏家本部理事より本部の定例理事会（7 月，8 月）の概要について報告があった。

（ 6 ）平成 27 年度新規研究委員会について

松島先生の研究委員会の活動が平成 26 年度で終了するため、新規研究委員会を以下のとおり準備することになった。

- ・ 徳島大学渡邊先生が委員長になり、平成 27 年度新規研究委員会を立ち上げる。
- ・ 平成 27 年度早々に委員会活動を開始するため、第 2 回拡大幹事会に設立趣意書（会告用）を提出する。

（ 7 ）その他

- ・ 平成 27 年度に四国支部設立 10 周年となるので、記念事業について次回拡大幹事会で協議する。
- ・ JCI 四国支部設立に伴い解散した四国コンクリート研究会の残金を四国コンクリート技術懇話会で管理している。本残金は JCI 四国支部関連事業の助成金として活用することが確認されているが、最近ではあまり使用されていない。また、収支についても報告されていないので、次回の拡大幹事会で収支を報告し、今後の活用方法について審議することになった。

以上

（記録者：古田 満広）